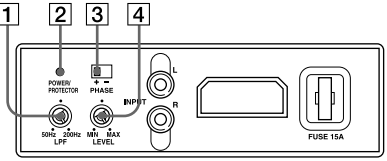


各部の各称と使いかた

本体



1 LPFカットオフ周波数設定つまみ
ローパス（低音域通過）フィルターのカットオフ周波数（50～200Hz）を設定します。

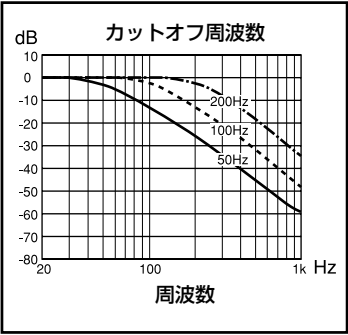
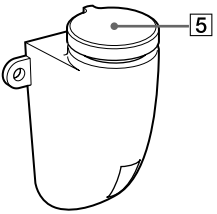
2 POWER/PROTECTOR（電源/保護回路）インジケータ
本機の動作中、緑色に点灯します。保護回路が作動するとインジケータは緑色から赤色に変わり、本機の動作を停止します。

3 PHASE（位相）切り換えスイッチ
お手持ちのシステムに合わせ低音が増して聞こえるほうに切り換えてください。

4 LEVEL（音量）つまみ
本機の音量を調節します。

5 リモートレベルコントローラー
運転席付近に取り付けて手で本機の音量の調節ができます。

リモートレベルコントローラー



ちょっと一言
リモートレベルコントローラーをご使用になる場合は、本体のLEVELつまみをMAXの位置に合わせてください。

使用上のご注意

- 窓を閉めきった自動車を直射日光下に放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、車内の温度を下げてからご使用ください。
 - ― ボックスの温度が異常に高くなった場合
 - ― 電源ヒューズがとんだ場合このような場合には、すぐに接続してある機器の電源を切り、異常の原因をお調べください。温度上昇が原因と考えられる場合は、しばらく放置して本機の温度を下げてからお使いください。
- 弱ったバッテリーで使用しないでください。本機の性能は電源の状況に左右されるため、十分に性能を発揮できません。
- 安全のため、運転中は車外の音が充分聞こえる程度の音量でご使用ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因（処置）
POWER/PROTECTORインジケータが点灯しない。	ヒューズが切れている。→ヒューズを交換する。 アースコード(GND)が接続されていない。→車体の金属部にしっかり接続する。 カーオーディオのアンプリモート出力のコードが本機のリモート入力端子に接続されていない。→カーオーディオのアンプリモート出力のコードが本機のリモート入力端子に接続されているか確認する。 本機のリモート入力端子への入力電圧が発生していない（または低い）。接続しているカーオーディオの電源が入っていない。→電源を入れる。 バッテリーの電圧が適切であるか（10.5～16V）確認する。
POWER/PROTECTORが赤色に点灯する。	接続が誤っている。→本機の電源を切って接続を確認する。 本機内部の温度が異常に上昇している。→本機の前面のバスレフ・ポートと側面にある放熱孔がふさがれていないか確認する。
オルタネーターの雑音が入る。	電源コードがRCAピンコード（またはハイレベルインプットコード）に近い。→RCAピンコード（またはハイレベルインプットコード）を電源コードから離して配線する。 RCAピンコード（またはハイレベルインプットコード）が車両ハーネスに近い。→離して配線する。
音が小さい。	アースが不充分である。→車体の金属部にしっかり接続する。 LEVELつまみがMINになっている。→LEVELつまみを調節する。 リモートレベルコントローラーを使用する場合は本体のLEVELつまみをMAXに合わせる。
音が出ない。	PHASEスイッチが完全に切り換わっていない。→PHASEスイッチを＋または－に正しくセットする。
音が途切れる。	保護回路が作動している（アンプの定格出力を越えて歪みの大きな信号がスピーカーに入力されている）。→音量を下げる。

以上の処置を行っても効果が見られないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

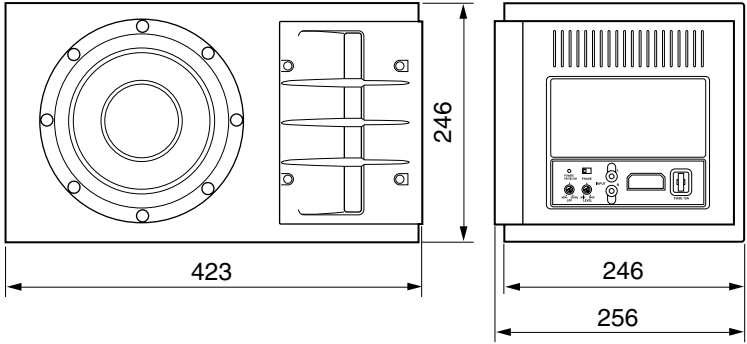
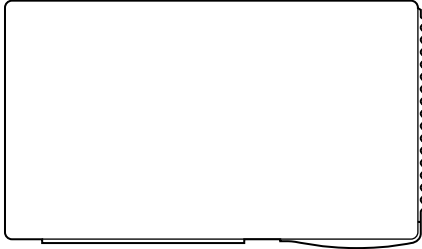
スピーカー部	
形式	20cm ポリプロピレンコーンウーファー
インピーダンス	4Ω
アンプ部	
回路方式	OTL（Output Transformerless）回路 パルス電源
入力部	RCAピンジャック ハイレベルインプット
最大出力	200W
定格出力	75W（150Hz、0.1%THD）
入力感度	0.2～4.0V（RCAピンジャック使用時） 0.4～8.0V（ハイレベルインプット使用時）
高調波ひずみ率	0.03%以下（100Hz）
ローパスフィルター	50～200Hz、－12dB/oct
システム部	
電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
電源電圧	10.5～16V
消費電流	定格出力: 13A リモート入力: 1.5mA
外形寸法	約423×246×256mm（幅/高さ/奥行き）
質量	本体 約8kg（付属品含まず）
付属品	リモートレベルコントローラー（1）、取り付け/接続部品（一式）、取扱説明書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）、保証書（1）
別売りアクセサリ	RCAピンコード RC-64（2m）、RC-65（5m）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

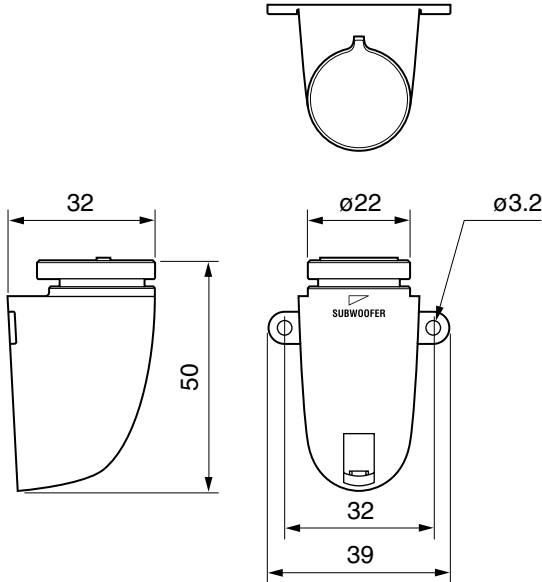
寸法図

単位：mm

本体



リモートレベルコントローラー



取り付けと接続

取り付け部品の確認（付属品）

①取り付け金具

×4

②ネジ

ø5×25
×4

③ネジ

ø5×20
×4

④両面テープ

⑤ネジ

ø3×12
×2

⑥電源コード

⑦リモート延長コード
5.5m（青）

⑧電源延長コード
7m（黄）

⑨保護スリーブ

⑩ギボシ端子（メス）

⑪スピーカーコード
5m（白、灰）

⑫圧着式コネクタ

×4

⑬中継コネクタ

×4

この「取扱説明書」に記載されている取り付け、接続先の機器はすべて別売品です。ただし、付属品は除きます。

取り付ける前に

- 車の運転の妨げにならない場所、非常時などの際に同乗者に危険を与えるおそれのない場所を選び、付属の取り付け金具を使ってしっかりと取り付けてください。
- ヒーター吹き出し口の近く、直射日光の当たる場所などは、故障の原因になりますので取り付けないでください。
- 取り付け場所にネジ穴をあけるときは、裏側に何も無いことを確かめてから作業してください。
- 本機は、DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）でのみ動作します。
- 他のカーオーディオ機器と干渉し合うことがあります。このような場合は、他の機器から50cm以上離して設置してください。
- 窓を閉めきった自動車を直射日光下で放置すると、車内は相当な高温になります。そのようなときは、車内の温度を下げてからご使用ください。
- 本機の放熱孔をカーペットなどでふさがないように、本機は水平に取り付けてください。
- 本機に電気が供給されない場合は、接続を確認してください。
- 本機は、オーバーヒート時やアンプに不具合があったときにトランジスターやスピーカーを保護するための保護回路*を搭載しています。保護回路をテストしようとして回路に余分な負荷をかけたりしないでください。
- 弱ったバッテリーで本機を動作させないでください。本来の性能を発揮することができません。
- 安全のため、運転中は車外の音が充分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- 本機の内部は高温になりますので、バスレフ・ポートに指などを入れないでください。
- スピーカー振動板に触れないでください。

***保護回路**
本機には、直流電流が発生したり、アンプがオーバーヒートしたときに作動する保護回路を搭載しています。保護回路が作動するとPOWER/PROTECTORインジケーターが緑色から赤色に変わり、本機の動作を停止します。
保護回路が作動して本機が動作を停止した場合は、接続している機器の電源を切って、接続を確認してください。アンプがオーバーヒートしていると考えられる場合は、アンプの温度が下がってからご使用ください。

ヒューズ交換

ショートしたときや本機に故障があるときは、ヒューズが切れ本機に過大電流が流れることを防ぎます。ヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、同じ規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金などで代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。
交換したあともしすぐ切れる場合はお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

取り付けボードについてのご注意

本機を安全に取り付けるために必ず取り付けボードを使用してください。取り付けボードは18mm以上の厚さの市販の板をご利用ください。

本体の取り付けかた

取り付け金具を利用する場合

1

取り付け金具①をネジ②で固定します。

取り付け金具①のL字型に立っている部分を、本機側面にあてるかたちでネジ②で止めます。

取り付け金具

2

本体を取り付けボードにネジ③で固定し、電源コード⑥を接続します。

取り付けボード

バスレフ・ポート

ご注意

バスレフ・ポートをふさがないように本体を取り付けてください。

リモートレベルコントローラーの取り付けかた

ステアリングや、シフトレバー、ブレーキペダルの操作の妨げとならない場所に取り付けてください。

1

リモコン裏面に両面テープ④を貼りつけます。（④を貼りつける面のゴミ、ホコリ等ははらってください。）

④

2

リモートレベルコントローラーをセンターコンソールやダッシュボードの下などに両面テープ④で仮止めし、ネジ⑤で取り付けます。

⑤

3

電源コード⑥のリモートレベルコントローラー端子を接続します。

⑥

ご注意

●端子はコネクタのロックがかかるまで、確実に接続してください。
●リモートレベルコントローラーのコードがシートレールの可動部などにはさみ込まれないことを確認してください。

Copyright © 2014 Sony Electronics Inc. All rights reserved. 本製品は登録商標です。その他の登録商標は、各権利者所有。 20140501

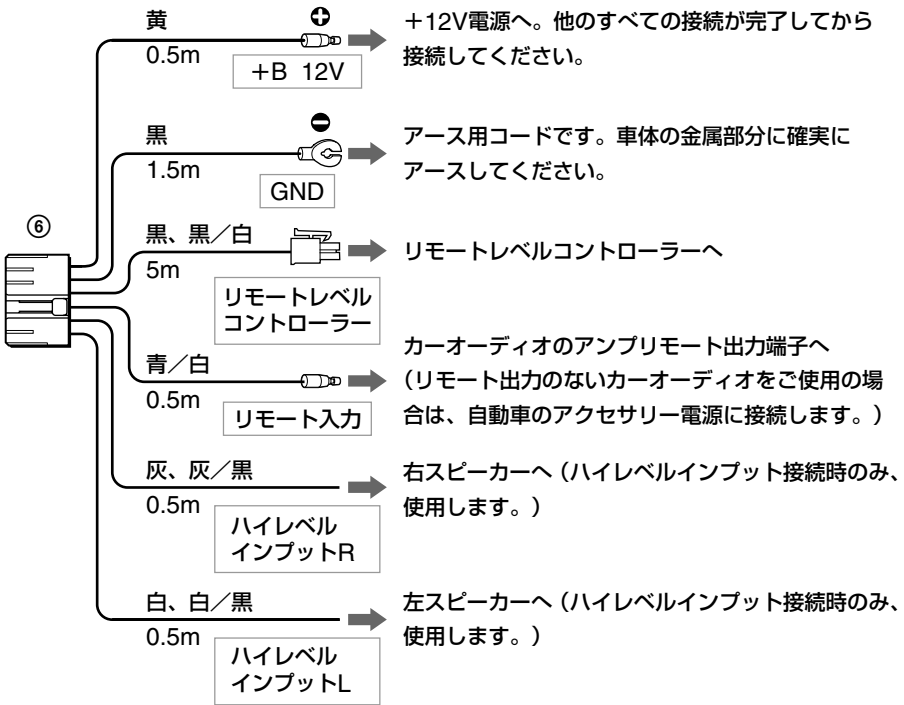
接続する前に 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

- 本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。
- 万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。
- RCAピンコードやスピーカーコード、リモートレベルコントローラー用コードは電源コードを近づけて配線するとノイズが出ることがありますので、できるだけ離して配線してください。
- 接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどのすべての電装品が正しく動作することを確認してください。
- シガレットライターより電源をとることは、おやめください。事故の原因となります。

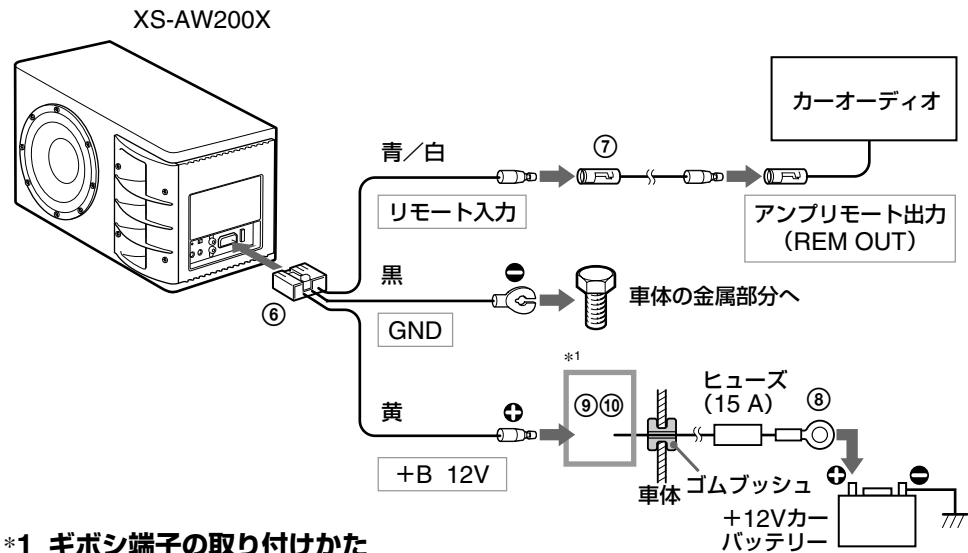
ご注意

- コード類を配線するときは、クランプや粘着テープなどで固定してください。金属のバリ部分などと接触する場合は必ず粘着テープなどでコードを保護してください。
- コード類は、ヒーターの吹き出し口の近くなどの高温になる場所を避けて配線してください。
- 電源コードは、指定されたとおり正しく配線してください。配線を誤ったり、確実に接続をしないと、雑音の原因になるだけでなく正しく動作しません。

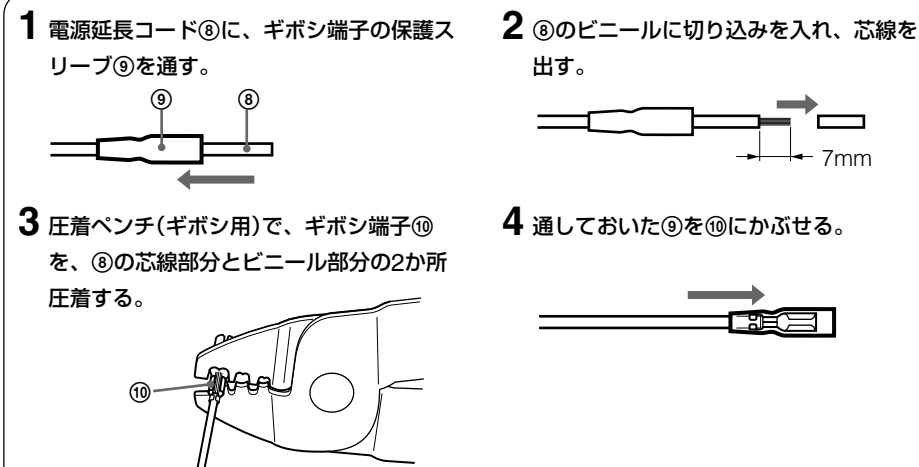
電源コードの色分け



電源接続



*1 ギボシ端子の取り付けかた

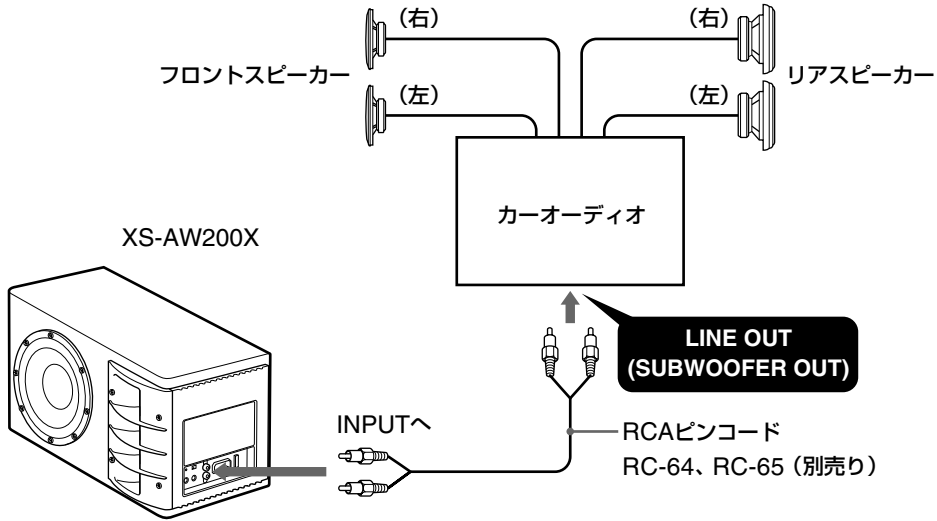


ご注意

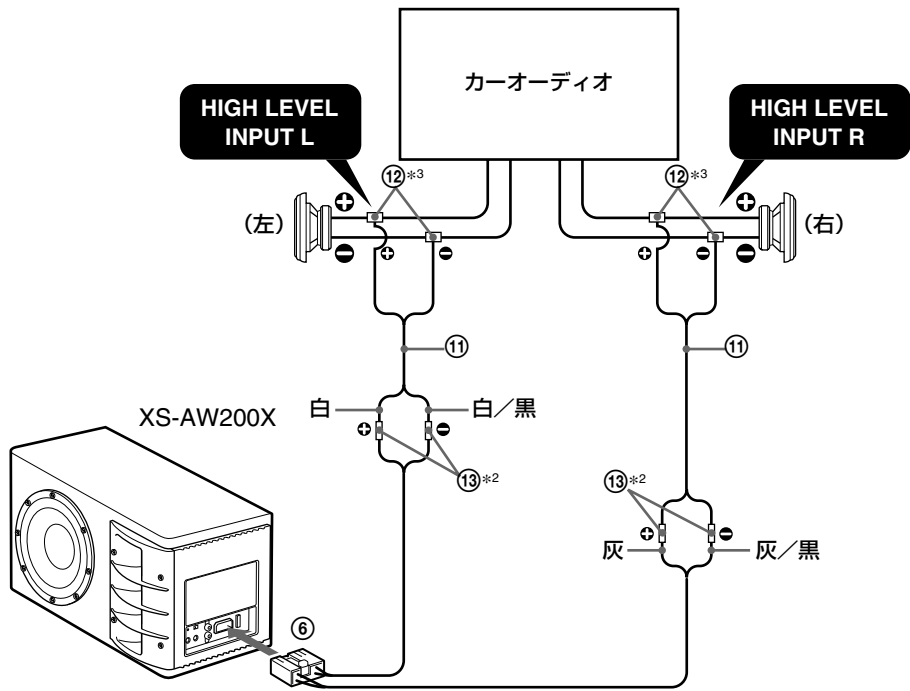
- +12V電源は、他のすべての接続が完了してから接続してください。
- アース用コードは、車体の金属部分に確実にアースしてください。確実にアースしないとアンプの故障の原因になることがあります。
- 電源延長コード⑧を車体（防火壁）に通す場合は、車体に直径7.4mmの下穴をあけた上で必ず⑧付属のゴムブッシュをお使いください。
- エンジンルーム内に電源延長コード⑧を配線する場合は、市販のスパイラルチューブ、結束バンド等で確実に保護、固定してください。

システムの接続例

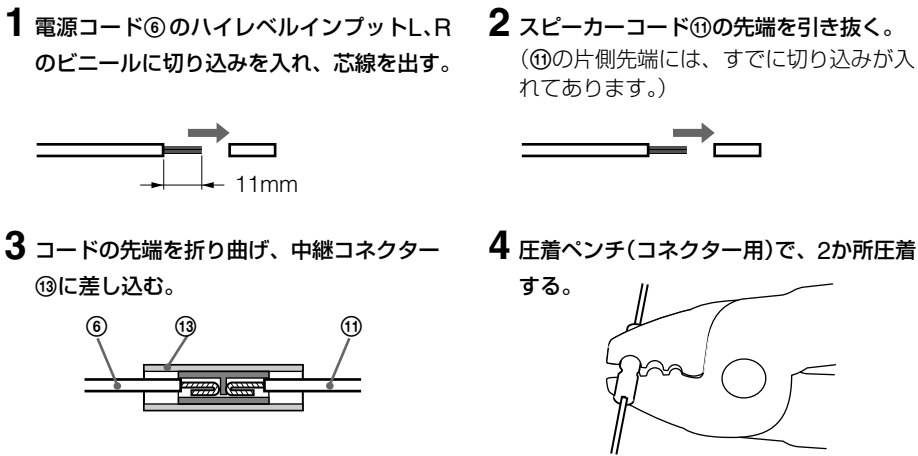
接続例1
ラインアウトのあるカーオーディオの場合



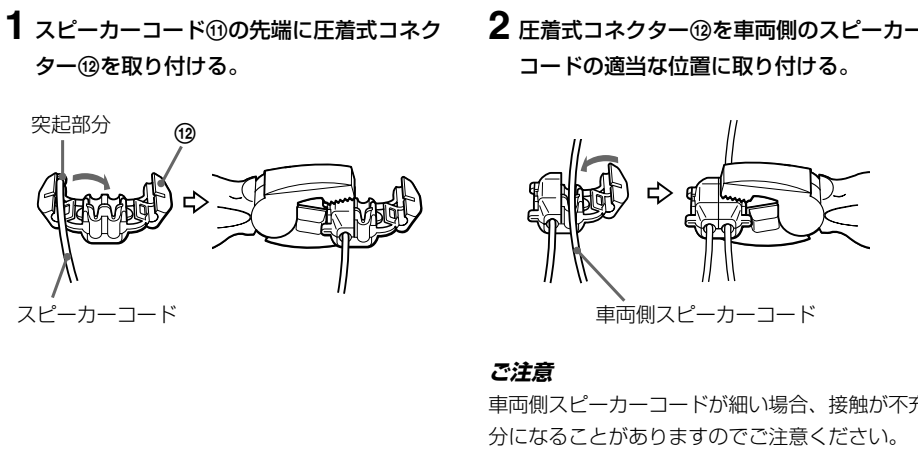
接続例2
スピーカー出力のみのカーオーディオの場合
(フロントあるいはリアスピーカーの左右のコードより分岐)



*2 中継コネクターの使いかた



*3 圧着式コネクターの使いかた



ご注意

スピーカーコード⑩は、+、-を正しく接続してください。+、-を逆に接続すると音が出ない場合があります。